

アメリカ大統領選挙

天理教ニューヨークセンター所長

福井 陽一 Yoichi Fukui

アメリカ大統領選挙

いよいよアメリカ大統領選挙の日がやってきた(11月5日記)。4年前の大統領選挙では、連日双方の支持者同士の衝突や警察隊との衝突が発生し、多数の逮捕者が出る事態となった。今回はそれを警戒して、投票所近辺や投票用紙保管倉庫などの警戒警備が強化されている。どちらの党が敗れたにしても抗議の暴動が起こるような気配があり、街には緊張した空気が流れている。在ニューヨーク日本国総領事館からも選挙関連施設や人が多く集まる場所にはなるべく近づかないなど、不測の事態に巻き込まれることのないように注意勧告が出されている。

この原稿が出る頃には選挙も終わり、既に結果が出ているかもしれない。あるいは、選挙結果に納得がいかず多数の暴動が発生しているかもしれないが、今回の選挙の特徴を考えてみたい。今までの選挙が共和党(保守)と民主党(リベラル)との戦いであったとしたら、今回は全く異なり、グローバリズム対反グローバリズム(または愛国主義)の対立軸で選挙を見る必要があるように思う。

世界がグローバリズムを新しいスタンダード(価値基準)として採択し、国境を超えた明るい未来を確約する魅力的な響きを醸し出し進んできた。民主党のバイデン・ハリス陣営はそれを継承し、国際協調に重きを置き、大勢の移民を歓迎し、ウクライナ戦争やイスラエル戦争を支援してきた。女性の中絶の権利を保護し、再生可能エネルギーの利用を積極的に促している。アメリカ初の女性大統領としても期待されている。

しかし、明るい未来とは裏腹に、紛争や戦争が勃発し、大企業による市場の独占や貧富の格差の拡大する中、国際社会におけるアメリカの地位はどんどん凋落し、経済は疲弊し、アメリカの愛国心や伝統、宗教までもが否定される方向に進んでいった。それに対抗して、もう一度古き良きアメリカを復活させたいという反グローバリズムの立場をトランプ陣営は取っている。

反グローバリズム政権の主張は、反移民、ウクライナ戦争支援反対、減税などである。8年前にトランプ政権がこの反グローバリズム政治を行って、ある程度成功を収めた。今回、共和党のトランプ陣営には、民主党の象徴とも言えるケネディー家のロバート・ケネディ Jr. やもともと民主党支持者だったイーロン・マスクなどの著名人が加わり、反グローバリズムの勢いが強まっている。ヨーロッパの各国でも同様の反グローバリズム政党が誕生しており、世界的な潮流となりつつあるように思う。それは、日本にも影響してくる可能性があると思われる。

講社の誕生

そのような激しいせめぎ合いの中、大統領選挙の前日11月4日に、天理教の講社がニューヨークの山前真生さん宅に誕生した。山前さんは10年前に婦人会本部の人材派遣生としてニューヨークセンターに着任。女子青年をつとめながらニュー



講社の開設 山前真生宅

ヨーク天理文化協会日本語を教えた。2年間の派遣期間終了後もニューヨークに留まり、引き続き日本語を教えながら、布教活動に従事した。10年の活動が実り、この度、所属の麴町大教会久保一元会長により、講社の鎮座が行われた。このような激動の旬の中に、天理の参り所の誕生に心から喜びを感じた。今から63年前の1961年、久保会長の祖父にあたる久保正徳麴町大教会5代会長が若い時に、2代真柱の御命を受けて、約3カ月かけて世界中を巡り、その時にニューヨークの街も一人で歩いたそうだ。先代の熱い思いと種まきのお陰で今日の講社の開設に繋がったのかもしれない。山前さんの日本語の教え子であるピーター・ギボンズさんも入信し、おぢばで修養科と教人資格講習会を終え、フロリダに講社を開設している。婦人会本部の人材派遣プロジェクトをきっかけに、このような人材を派遣していただいた婦人会本部のご尽力に、この場をお借りして心からお礼を申し上げたい。

同じ時期にもう一つの喜びがあった。以前文化協会日本語講師を務めていたマシウク(旧姓岡野)聖子さんの夫フェルナンドさんが、先月10月26日のお運びでアルゼンチンにあるブエノスアイレス教会の3代会長に就任した。マシウク聖子さんはニューヨークでの勤務を終了後、アルゼンチンに渡り、日本語教室を開講。日本語教室を通してフェルナンドさんと知り合い、結婚した。そして、聖子夫人の丹精の下、フェルナンドさんは、ようばく、布教所長を経て今回会長就任の運びとなった。これからのフェルナンド夫妻の活躍が楽しみである。

現在のグローバリズムと反グローバリズムのせめぎ合いが続く中、まだまだ微力ではあるが、一れつ兄弟姐妹が互いに立て合いたすけあう陽気ぐらしの姿を伝える天理教の拠点が増えていくのはとても喜ばしいことだ。長い道のりになるかもしれないが、教祖から教えていただいた陽気ぐらしの生き方こそが、世界のスタンダードとなり、世界を平和に導き治めていくことのできる生き方であると思う。その日が来るのを楽しみに、まずは身近な人から世界の人々へ繋がっていくように、今後の活動を進めていきたいと願っている。